

韓国からのお客様、西高訪問



10月28日（火）韓国から二人の高校生が来校して、本校生徒と交流を深めました。二人は日本赤十字社が主催する青少年赤十字国際交流事業により来日したものです。市内の家庭にホームステイしながら市内高校や山寺、被災地などで研修を行い、最後にはJRC／RCY International Meeting, Mt. Fuji 2014に参加して帰国します。

来校したのは、イ・サンヒさんとジン・ジュヒさん、いずれも韓国テジョン市にある女子高校の2年生です。二人とは主に英語での会話となります。朝のHRから2年3組のクラスと一緒にりましたが、同じ女子高生同士、すぐに打ち解けて、笑い声が絶えなくなりました。

授業は、英語や数学、そして書道にも挑戦しました。英語では、来月出かける京都への修学旅行での班別行動の計画を英語でプレゼンテーションをして、彼女たちに日本の歴史や文化を感じてもらおう趣向で行われました。書道では自分の名前の漢字を筆で書くという初の試みの体験をしてもらいました。

生徒たちは、「彼女たちのように英語をうまく使えるようになって、いつか韓国を訪問してみたい」「韓国も日本の高校生も同じような趣味や悩みを持つのだなということが分かった」などの感想を言っていました。

JRCの部員と交流会も持たれ、彼女たちにとっても本校生にとっても有意義な時間を過ごせたのではないかと思います。

なお、この模様は、当日のYBCニュース、翌日の山形新聞にも取り上げられました。

